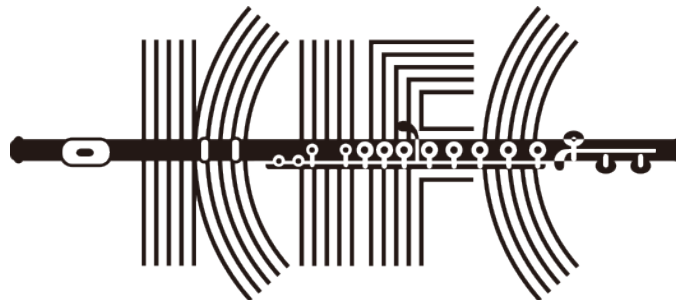


国際音楽コンクール世界連盟加盟

第 9 回神戸国際フルートコンクール



KOBE INTERNATIONAL
FLUTE COMPETITION

2017

実施要項

2017年5月25日(木)～6月4日(日)

主 催

神戸国際フルートコンクール運営委員会 神戸市 (公財)神戸市民文化振興財団
(公社)日本演奏連盟 (一社)日本フルート協会

後 援

外務省 文化庁 兵庫県 NHK 神戸放送局 アジア・フルート連盟

I. コンクール概要

1. 趣 旨

「神戸国際フルートコンクール」は、1985年の創設以来、世界の有望な若きフルーティストを世界の楽壇に飛翔させるとともに音楽を通じて国際交流と友好親善を図ることに加え、「音楽のまち神戸」として文化の香り豊かなまちづくりを推進することを目的として4年毎に開催する。本コンクールは国際音楽コンクール世界連盟に日本から初めて加盟し(1987年)、フルートに特化した世界でも稀な国際コンクールである。

2. 名 称

第9回神戸国際フルートコンクール
The 9th Kobe International Flute Competition (KIFC)

3. 開催期日

第1次審査	2017年5月25日(木)～5月27日(土)
第2次審査	〃 5月29日(月)～5月30日(火)
第3次審査	〃 6月1日(木)
本 選	〃 6月3日(土)
表彰式・披露演奏会	〃 6月4日(日)

4. 会 場

第1～3次審査・本選・表彰式・披露演奏会とも
神戸文化ホール 中ホール 神戸市中央区楠町4丁目2-2
TEL (078) 351-3535

5. コンクールの構成

予備審査(録音・書類審査)に合格した計50名程度を対象に第1次、第2次、第3次審査、本選を行う。

出場者の演奏順については2017年5月24日(水)に行われる抽選で決定する。この抽選には出場者本人が必ず参加すること。第2次審査以降についても、その都度、演奏順については抽選で決定する。なお、すべての演奏は公開される。

6. 主 催

神戸国際フルートコンクール運営委員会、神戸市、(公財)神戸市民文化振興財団、
(公社)日本演奏連盟、(一社)日本フルート協会

7. 後 援

外務省、文化庁、兵庫県、NHK神戸放送局、アジア・フルート連盟

8. 会 長

久 元 喜 造 神戸市長

9. 顧 問

名誉顧問： 辻 正 司 一般財団法人 セレモア文化財団会長

顧 問： 峰 岸 壮 一 桐朋学園大学名誉教授

10. 運営委員

委員 長： 神 田 寛 明 NHK交響楽団首席奏者/桐朋学園大学教授

委 員： 酒 井 秀 明 (一社)日本フルート協会副会長/洗足学園音楽大学客員教授

佐久間 由美子 国立音楽大学客員教授

竹 林 秀 憲 (一社)日本フルート協会理事 関西部会事務局長/元相愛大学教授

堤 剛 (公社)日本演奏連盟理事長

槇 山 淳 NHK神戸放送局長

服 部 孝 司 (公財)神戸市民文化振興財団理事長

11. 審査委員

名誉審査委員長： 金 昌国 (日本)

委 員 長： 酒 井 秀 明 (日本)

委 員： アンドラーシュ・アドリヤン (デンマーク)

フィリップ・ベルノルド (フランス)

エミリー・バイノン (イギリス)

ヴァリー・ハーゼ (ドイツ)

ティモシー・ハッチンス (カナダ)

ミハエル・マルティン・コフラー (オーストリア)

工 藤 重 典 (日本)

尹 慧利 (韓国)

II. 出場申込について

1. 応募資格

1984年5月25日以降に出生した者。

2. 参加料

18,000円

コンクール出場申込者は、2016年9月30日(金)までにクレジットカードまたは銀行振込のいずれかの方法で支払うこと(振込手数料は本人負担とする)。参加料はいかなる事由があっても返還しない。

3. 応募方法

以下のとおり、オンラインまたは郵送のいずれかの方法で申し込むこと。

<オンライン> 下記①～③を公式ウェブサイトから申し込むこと。
また、④および⑤(該当者のみ)を事務局へ別途郵送すること。

① 申込書	<ul style="list-style-type: none">公式ウェブサイトからアクセス。(http://www.kobe-bunka.jp/flute/)
② 写真	<ul style="list-style-type: none">申込日から6ヶ月以内に撮影されたもの。上半身・正面、カラー又は白黒。公式プログラムや広報媒体等に使用。著作権による制限がないもの。データとしてアップロードすること(画素数は600×600ピクセル以上、形式はJPEGのこと)。
③ 年齢証明	<ul style="list-style-type: none">パスポートなど年齢を証明できるものを、データとしてアップロードすること(形式はPDFまたはJPEGのこと)。
④ 予備 審査用 CD	<ul style="list-style-type: none">録音すべき作品は別記の予備審査課題曲とし、いかなる編集・加工もなされていないもの。作成したCDは一般のCDプレーヤーで再生可能か必ず確認すること。上記のことを証明する第三者の署名及び連絡先を記入した音源提出カードを、CDに添えて提出すること。録音冒頭に応募者の氏名を録音すること。
⑤ 支払証明 (該当者のみ)	<ul style="list-style-type: none">支払はクレジットカード決済、または銀行振込のいずれか。クレジット決済は、公式ウェブサイトより手続きを行うことが可能。銀行振込の場合は、振込完了を確認できるものをコピーし、事務局に提出すること。(クレジットカード決済の場合は不要)

<郵送> 下記①～⑤すべてのものを事務局に郵送すること

① 申込書	<ul style="list-style-type: none">実施要項 最終項。公式ウェブサイトからもダウンロード可能。
② 写真	<ul style="list-style-type: none">申込日から6ヶ月以内に撮影されたもの。上半身・正面、カラー又は白黒。公式プログラムや広報媒体等に使用。著作権による制限がないもの。写真2枚(5×5cm)、うち1枚は申込書に貼付のこと。データを提出の場合は、予備審査用CDとは別のCDに保存すること。
③ 年齢証明	<ul style="list-style-type: none">パスポートなど年齢を証明できるものをコピー。
④ 予備 審査用 CD	<ul style="list-style-type: none">録音すべき作品は別記の予備審査課題曲とし、いかなる編集・加工もなされていないもの(作成したCDは一般のCDプレーヤーで再生できることを必ず確認すること)。上記のことを証明する第三者の署名および連絡先を記入した音源提出カードを、CDに添えて提出すること。録音冒頭に応募者の氏名を録音すること。
⑤ 支払証明	<ul style="list-style-type: none">振込完了を確認できるものをコピーし、事務局に提出すること。支払いは銀行振込に限る。

4. 応募期間

2016年6月1日(水)～2016年9月30日(金)まで(必着)
オンライン申し込みの場合は、2016年9月30日(金)23:59(日本時間)まで

5. 申込先(事務局)

〒650-0017 神戸市中央区楠町4丁目2-2
公益財団法人神戸市民文化振興財団内
神戸国際フルートコンクール運営委員会

TEL: (078)351-3597
E-mail: kifc@kobe-bunka.jp
URL: <http://www.kobe-bunka.jp/flute/>

* 日本国外からの問い合わせは、E-mailに限る。

銀行振込口座: (公財)神戸市民文化振興財団
三井住友銀行 三宮支店 普通 No. 410-8682991
SWIFT CODE: SMBC JP JT

6. 応募条件の遵守

申込書への署名により、申込者は参加条件、審査委員会の決定を受け入れなければならない。この件に関する法的措置は認められない。また応募条件を満たさない申込は受け付けない。
提出された申込書類などは返却しない。

7. 出場者の決定

申込者からの提出物をもとに予備審査を行い、第1次予選出場者を決定する。予備審査の結果は、すべての申込者に通知する(2016年12月下旬予定)。審査結果に対する問い合わせには応じない。

III. コンクールへの出場について

1. オリエンテーション

予備審査を通過した出場者は、2017年5月24日(水)に行われるオリエンテーションおよび第1次予選の演奏順を決める抽選会に必ず出席すること。欠席・遅刻した場合は出場資格を失う場合がある。

2. 審査

演奏の審査については、別に定める審査規定に基づき、審査委員会がこれを行う。審査委員会の決定は最終のものである。

3. 審査結果発表(予定)

第1次審査 2017年5月27日(土) 夜
第2次審査 2017年5月30日(火) 夜
第3次審査 2017年6月1日(木) 夜
本選 2017年6月3日(土) 夜

*第1～3次審査結果発表後、ただちに次選の出場順の抽選を行う。

4. 賞

第1位	賞金 200万円	賞状
第2位	賞金 100万円	賞状
第3位	賞金 50万円	賞状
第4位～第6位	賞金 20万円	賞状

- 上記のほか特別賞を授与することがある。
- 本コンクールの趣旨に賛同する団体および個人から贈られる副賞等を授与することがある。
- 授与される金銭について日本の法律により税が課せられる場合において、源泉徴収をする必要があるときは、これを控除して交付する。(税率は原則として20.42%)

IV. その他

1. 出場者の旅費・宿泊費・保険費

(1) 出場者の旅費は、本人負担とする。

ただし、アジア地域以外の居住者で、その居住地から来日する出場者1人に対し50,000円を主催者が補助する。(アジア地域以外に在住する日本人出場者で、本コンクールのために一時帰国する者も含む。ただし、海外在住を証明する書類の提出を求められる場合がある。)支給される金銭について日本の法律により税が課せられる場合において、源泉徴収をする必要があるときは、これを控除して交付する。(税率は原則として20.42%)

(2) 事務局が定める宿舎に限り、開催日の2日前の5月23日(火)から下記期間中の宿泊費(シングルルーム・朝食付き)を、事務局が負担する。ただし、これ以外の滞在費は全て本人負担とする。

- (a) 第1次審査出場者 … 第1次審査終了日の翌朝まで [~5月28日(日)]
- (b) 第2次審査出場者 … 第2次審査終了日の翌朝まで [~5月31日(水)]
- (c) 第3次審査出場者 … 第3次審査終了日の翌朝まで [~6月2日(金)]
- (e) 本選出場者 … 表彰式(披露演奏会)の翌朝まで [~6月5日(月)]
- (d) 審査委員会が指名する披露演奏会出場者 … 表彰式(披露演奏会)の翌朝まで [~6月5日(月)]

(3) 希望者にはホームステイ先を斡旋する。(詳細は予備審査通過者に別途通知)

(4) コンクール出場時の出場者自身の健康・傷害に関する保険、及び楽器・手荷物・その他の所持品に関する事故・火災・盗難・破損に関する保険は、必要と思われる場合は、本人自身が加入すること。

2. 査証取得

コンクール出場のために入国査証を必要とする場合は、出場者本人の責任で入国査証を取得すること。査証取得の申請に際し、招聘の理由書等の提出を求められた場合は、直ちに、事務局へ申し出ること。

3. 著作権等

本コンクールおよび披露演奏会で行われる演奏についての、録音や写真・映像撮影、およびそれらを使用した販売、配信等に関する著作権等を含む諸権利は、主催者に帰属する。

4. その他

- (1) 審査委員会が指名する上位入賞者は、2017年6月4日(日)開催の披露演奏会に出演すること。ただし、出演料は支払わない。
- (2) この要項に関して発生する問題については、日本語の本要項に基づき、かつ日本法に準拠して解決される。
- (3) 申込みの際の個人情報の取り扱いについては、(公財)神戸市民文化振興財団において厳重に管理し、事前の同意・承諾を得ずに第三者に開示・提供することはない(法令などにより開示を求められた場合を除く)。

5. 追 記

本コンクールの最高位入賞者に対して、以下の演奏団体等からソリストとして招請されることがある。

- 神戸市内でのソロリサイタル
- アンサンブル of トウキョウ 定期演奏会
- さいたまアンサンブル 定期演奏会
- 日本フルートコンヴェンション
- 新日本フィルハーモニー交響楽団演奏会

V. 課題曲

使用楽譜の版は指定しない。繰り返しの有無は任意とする。ただし、各審査における演奏時間を守ること。特に暗譜する必要はない。

選択した曲目は申込書の所定欄に記入すること。申し込み後の変更は認めない。なお第3次審査の(3)において i)を選択した場合は使用楽譜のコピーを予備審査用 CD と合わせて送付すること。

1. 予備審査

下記課題曲を(1)(2)の順番で録音すること。

(1) 以下の a) ~ b)いずれかを選択。

- a) F.Kuhlau : Drei Fantasien Op.38 より No.1 D-dur
- b) F.Kuhlau : Drei Fantasien Op.38 より No.3 C-dur

(2) 以下の a) ~ c)より1曲選択。

- a) E.Bozza : Quatorze Etudes-Arabesques より No.14
- b) S.Karg-Elert : 30 Caprices Op.107 より No.30
- c) L.de Lorenzo : Il “Non plus ultra” del Flautista Op.34 より No.17

* 録音メディアはオーディオ CD 形式のみとし、いかなる編集・加工もしてはならない。作成した CD は一般の CD プレーヤーで再生可能か、必ず確認すること。

* 収録時、課題曲(1)の前に自分の名前を録音すること(日本語表記における発音確認のため)

2. 第1次審査

下記課題曲(1)(2)(3)を演奏すること。演奏時間は(1)(2)(3)を合わせて20分以内とする

- (1) J.S.Bach : Partita a-moll BWV 1013 より Allemande および Corrente
- (2) N.Paganini : 24 Capricci Op.1 より任意の1曲
- (3) E.Bozza : Quatorze Etudes-Arabesques より No.7

3. 第2次審査

下記課題曲(1)(2)を演奏すること。演奏時間は(1)(2)を合わせて25分以内とする。

(1) 以下の a) ~ d) より1曲選択。伴奏はピアノのみとする。

- a) C.P.E.Bach : Sonate D-dur Wq 83
- b) C.P.E.Bach : Sonate G-dur Wq 86
- c) M.Blavet : Sonate Op.2 No.2 “La Vibray”
- d) M.Blavet : Sonate Op.2 No.4 “La Lumague”

(2) 以下の a) ~ e) より1曲選択

- a) J.Andersen : Ballade et Dance des Sylphes Op.5
- b) H.Büsser : Andalusia Op.86
- c) A.Jolivet : Chant de Linos
- d) F.Martin : Ballade (1939)
- e) R.Muczynski : Moments Op.47

4. 第3次審査

下記課題曲を演奏すること。演奏時間は(1)(2)(3)合わせて35分以内とする。

(1) 以下の a) ~ e) より1曲選択

- a) G.Enesco : Cantabile et Presto
- b) G.Fauré : Fantaisie Op.79
- c) P.Gaubert : Fantaisie
- d) P.Gaubert : Nocturne et Allegro Scherzando
- e) P.Taffanel : Andante Pastoral et Scherzettino

(2) 以下の a) ~ d) より1曲選択

- a) T.Böhm : Fantaisie über ein Thema von Schubert Op.21
- b) J.Demessseman : Grande Fantaisie de Concert sur Oberon de Weber Op.52
- c) F.Doppler : Airs Valaques Op.10
- d) P.Taffanel : Fantaisie sur "Le Freischütz"

(3) 以下の a) ~ i) より1曲選択。使用楽器はピッコロ、フルート、アルトフルート、バスフルートに限る。マイク、ロフォン、アンプなどは使用しないこと。

- a) K.Aho : Solo III
- b) L.Berio : Sequenza (Sequenza I)
- c) C.Halffter : Debla
- d) H.Holliger : Sonate (in)solit(air)e より任意の数曲
- e) P.Hurel : Eolia
- f) T.Ichivanagi : In a Living Memory (一柳慧:忘れ得ぬ記憶の中に)
- g) B.Mantovani : Früh
- h) I.Yun : Etüden より任意の一、ないし数曲
- i) 上記 a) ~ h) と同程度の難易度である無伴奏作品。

5. 本選

以下の(1)(2)を演奏すること。演奏順は(1)(2)の順とする。

- (1) W.A.Mozart : Rondo D-dur K.373b (Anh.184) (指揮者無しで演奏すること)
- (2) A.Jolivet : Concerto pour Flûte et Orchestre à cordes (指揮者付きで演奏すること)

6. 伴奏者について

<伴奏者>

- 公式伴奏者は主催者から委嘱する。参加者は公式伴奏者を指名することはできない。
- 出場者が自ら伴奏者を同伴する場合は、伴奏者に要する一切の費用は出場者の負担とする。
- 本選は主催者が委嘱するオーケストラ・指揮者と演奏すること。

<伴奏者との練習>

- ピアノ伴奏者(公式伴奏者、帯同した伴奏者を問わず)との練習は、第2次審査については70分(練習場での練習約55分、ステージでの練習約15分)とし、第3次審査についてはピアノ伴奏者との練習場での練習約70分とし、運営委員会の定める日程に従い、その機会が与えられる。
- 本選出場者については、前日にオーケストラとの練習の機会が与えられる。
- すべての練習について、コンクール関係者以外の立入りは認めない。

VI. 過去の入賞者

第1回 [1985年]

- 第1位 アリフェ＝グルセン・タトゥ (トルコ) [ドイツ・トロッシンゲン音楽大学 教授]
第2位 佐久間 由美子 (日本) [国立音楽大学 客員教授]
第3位 ヴィセンス・プラット＝パリース (スペイン) [パリ管弦楽団 首席奏者]

第2回 [1989年] (第1位 2名)

- 第1位 ペトリ・アランコ (フィンランド) [シベリウス音楽院 講師]
第1位 エマニュエル・パユ (フランス) [ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 首席奏者]
第3位 イレン・モーレ (ハンガリー) [ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団]

第3回 [1993年] (第1位 なし)

- 第2位 アンドレア・リーバークネヒト (ドイツ) [ミュンヘン音楽大学 教授]
第2位 エイミー・ポーター (アメリカ) [ミシガン大学 教授]
第3位 エミリー・バイノン (イギリス) [ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 首席奏者]

第4回 [1997年]

- 第1位 ケルステン・マッコール (ドイツ) [ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 首席奏者]
第2位 マテュー・デュファー (フランス) [ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 首席奏者]
第3位 ヘンリック・ヴィーゼ (ドイツ) [バイエルン放送交響楽団 首席奏者]

第5回 [2001年]

- 第1位 サラ・ルヴィオン (フランス) [フランクフルト歌劇場管弦楽団 首席奏者]
第2位 サビーヌ・モレル (フランス) [チューリッヒ・トンハーレ管弦楽団 首席奏者]
第2位 ドーラ・シェレシュ (ハンガリー) [木管五重奏団カリヨン]

第6回 [2005年] (第1位 2名)

- 第1位 小山 裕幾 (日本) [フィンランド放送交響楽団 首席奏者]
第1位 アンドレア・オリヴァ (イタリア) [サンタ・チェチーリア国立アカデミー交響楽団 首席奏者]
第3位 高木 綾子 (日本) [東京芸術大学 准教授]
第3位 サラ・ルメール (スイス) [スイス・ロマンダ管弦楽団 首席奏者]

第7回 [2009年]

- 第1位 ダニエラ・コッホ (オーストリア) [バンベルク交響楽団 首席奏者]
第2位 ロイク・シュネデイル (フランス) [スイス・ロマンダ管弦楽団 首席奏者]
第3位 デニス・ブリアコフ (ロシア) [メトロポリタン歌劇場管弦楽団 首席奏者]

第8回 [2013年] (第1位 2名)

- 第1位 マチルド・カルデリーニ (フランス) [セセッション・オーケストラ 首席奏者]
第1位 セバスチャン・ジャコー (スイス) [ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団 首席奏者]
第3位 アドリアナ・フェレイラ (ポルトガル) [ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団 首席奏者]
第3位 竹山 愛 (日本) [洗足学園音楽大学 非常勤講師]

※ [] 内は2016年4月25日現在の所属